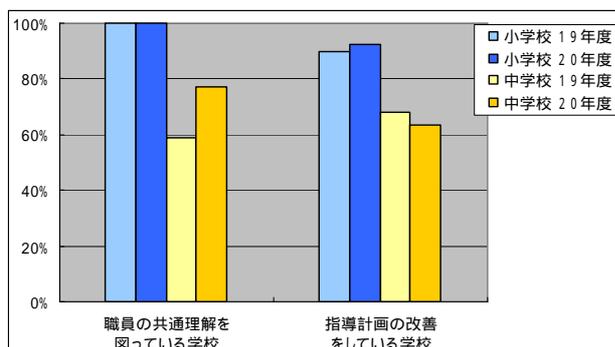


ねらい

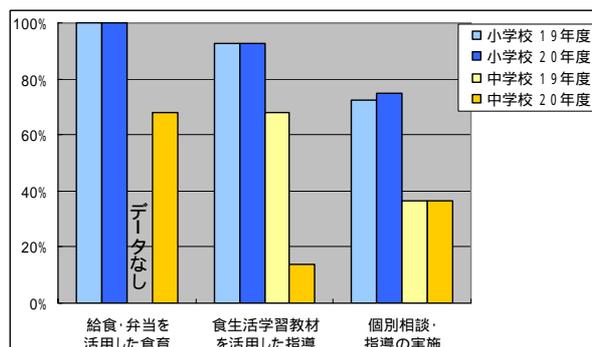
朝食の欠食や偏食など、子どもの食生活が大きな問題となっている中で、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせることにより、生涯にわたって健やかな心身と豊かな人間性を育てていくための基礎を培うことをめざしています。

現状と課題

「食に関する指導計画」の作成・改善

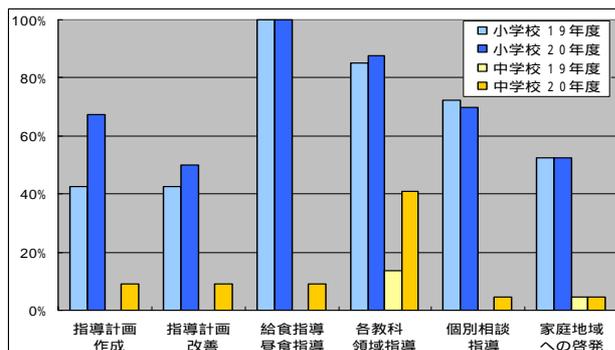


「食に関する指導計画」に基づいた指導



- ・ 小学校では、職員の共通理解のもとに「食に関する指導計画」の作成を行い、計画に基づいた指導と改善が図られています。中学校も、職員の共通理解のもとに計画的な指導を行う学校が増えてきました。
- ・ 今年度より中学校の食生活学習教材がデータによる配付になったことにより、有効活用されていないことが明らかになりました。

栄養教諭・学校栄養職員による参画



- ・ 栄養教諭の増員や中学校給食の先行実施に伴い、栄養教諭等による中学校への参画が広がっています。
- ・ 担任や教科担当との連携した指導の充実や、全中学校における食育への参画を実現させるためには、栄養教諭の増員とともに兼務校の勤務体制の整備と指導計画の改善を図る必要があります。

今後の改善方針

小・中学校における食育に対する栄養教諭の参画を推進し、担任や教科担当と栄養教諭との連携のもとに、児童生徒の食の実態に応じた指導の充実を図ります。

中学校給食の全校実施に伴い、学校給食の教育的意義を再確認するとともに、学校教育活動全体で食育の充実を図ります。

幼稚園給食の実施に伴い、幼児の食の実態や課題を把握し、幼稚園から小学校へ連続した食育の充実を図ります。また、家庭の食育に対する支援および啓発を行います。

四日市市在籍・兼務状況（20年度）  
 栄養教諭 在籍 6校 兼務 小12校 中12校  
 学校栄養職員 在籍 10校 担当 小12校 中1校